

# 外国技術導入の動向分析（平成9年度）

平成11年6月28日  
科学技術政策研究所

## < 調査目的 >

- 本調査は、「外国為替及び外国貿易管理法」による技術導入契約の締結(変更)に関する報告書等に基づき、我が国における平成9年度の外国からの技術導入の実績をとりまとめるとともに、最近の技術導入の動向について分析を行っている。  
(なお、本調査の対象技術には「ソフトウェア」及び「商標のみ」も含まれてる。)

## < 調査対象 >

- 対象総数 … 2,685件
- 対象期間 … 平成9年4月1日～平成10年3月31日

## < 調査結果の概要 >

- 新規技術導入件数が激減し、10年前の水準に。
- 米国からの導入割合は依然として高く、6割強を占め、シェアは拡大。
- 全体件数減少の中、電子部品、通信機械で大きく増加し、化学機械も増加。
- 電子部品はパソコン周辺部品、通信機械は携帯電話が主流。化学機械ではゴミ処理プラント等の環境関連。
- 資本金10億円以上の企業におけるソフトウェアの導入件数が、最近10年間で初めて減少。
- ソフトウェアで権利取得が、件数、割合とも2年間連続して減少。

内容に関する問い合わせ先

●科学技術政策研究所 情報分析課

- 担当：山口、久野
- TEL：03-3581-0547(直通)
- FAX：03-3503-3996

本報告書の入手方法

●本報告書は、大蔵省印刷局より発行。販売所等の問合せ先：TEL：03-3587-4283～4